

2012年05月08日

トヨタ自動車、米ケンタッキー工場でエンジンの生産能力を増強

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)のアメリカにおける生産事業体Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc.(以下、TMMK)は、2.5L直列4気筒ARエンジンの需要拡大に伴い、2013年8月までに、本エンジンの生産能力を年産約10万基増強する。これにより、TMMK全体のエンジン生産能力は、現在の年産約44万基から約54万基となる。これに伴う投資額は、サプライヤーなどにおける関連投資も含め、約3,000万ドル、新規雇用は約80名を予定している。

現在、北米におけるARエンジンの生産は、TMMK、Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc.で行っており、カムリ、RAV4、ハイランダー、シエナ、ヴェンツァに搭載されている。今回、ARエンジンの需要拡大を受け、TMMKでの生産能力を増強することとした。

トヨタは「需要のあるところで生産する」という考え方のもと、今後も現地生産を推進していく考えである。

<TMMK概要> (2012年4月時点)

| | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名 | Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc. (TMMK) トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・ケンタッキー |
| 所在地 | ケンタッキー州 ジョージタウン市 |
| 社長 | Wil James(ウィル・ジェームス) |
| 設立 | 1986年1月 |
| 生産品目 | ・車両:アバロン、カムリ、カムリハイブリッド、ヴェンツァ ・エンジン:2.5L直列4気筒(2AR)、3.5L V型6気筒(2GR) |
| 生産能力 | 車両:約50万台/年、エンジン:約44万基/年 |
| 従業員数 | 約6,600人 |

以上